

# 日系社会青年ボランティア「現職教員特別参加制度」活動支援のための教育協力システムの形成

愛知県立大学  
東 弘子

## 【活動地域】

ブラジル・日本

## 【概要】

- ・ H21 年度：日系ブラジル人集住地区の外国人児童生徒への教育支援を行っている公立学校、NPO、ブラジル学校等の教育実践者や JICA 日系社会青年ボランティア OG 等から意見聴取。日本とブラジルの学校文化の違いのまとめ。具体的な教材・教具の提案など。
- ・ H22 年度：本事業が教育協力の情報ネットワークの拠点となるような役割を果たしながら、現職教員のブラジルでの活動にも寄与し、かつ教員として帰国した後にも経験が還元できるような支援のあり方を意識。

← (具体的な活動内容は資料裏／左パネル：活動 1. から活動 4.)

## 【目標】

- ・ JICA 日系社会青年ボランティア（ブラジル）現職教員の活動の質の向上。
- ・ 帰国後、より質の高い教育活動につなげるための経験知の共有。

## 【体制】

愛知県立大学教員（専門領域は日本語学、応用言語学、社会学、ブラジル地域研究など）と外国人児童生徒教育に直接携わる研究者および外国人児童生徒教育の経験をもつ職員が実施メンバーとなりブラジルおよび日本国内での調査・活動をおこなった。

東 弘子、加藤 史朗、高阪 香津美（愛知県立大学外国語学部国際関係学科）

渡会 環（愛知県立大学外国語学部ヨーロッパ学科スペイン語圏専攻）

松宮 朝（愛知県立大学教育福祉学部社会福祉学科）

松本 一子（愛知淑徳大学・愛知教育大学・愛知県立大学非常勤講師）

渡邊 あづさ（愛知県立大学学術情報部研究支援・地域連携課職員）

## 【成果物】

- 1 教室活動事例集（冊子、CD、動画 DVD）
- 2 調査等報告書（冊子）

市町教育委員会・学校長への聞き取り調査

ブラジル現地調査

座談会

課題と提案

# 日系社会青年ボランティア「現職教員特別参加制度」 活動支援のための教育協カシステムの形成



## 目的

JICA日系社会青年ボランティアとしてブラジルに派遣されている現職教員の活動の質の向上、および、帰国後のより質の高い教育活動につなげるための経験知の共有

## 活動

平成22年度は、現職教員のブラジルでの活動にも寄与し、かつ教員として帰国した後も活動で得た能力が還元できるような支援のあり方を意識し、次のような活動を行った。

### 活動1. 外国人の子どもの教育に関する教室活動事例集 作成 (冊子, CD, DVD)

協力者: 活動中の現職教員、外国人児童生徒の支援者、教員、NPO団体、研究者 等

### 活動2. 現職教員ボランティアの所属する教育委員会および学校長への聞き取り調査

教育委員会や学校長が派遣教員へよせる期待、海外での活動の評価、帰国後の活躍

### 活動3. 現職教員ボランティアへの支援とブラジルでの活動状況の調査

現地ミーティング実施、国内外外国人児童生徒教育事情などの情報提供、ブラジル現地調査

### 活動4. JICAボランティアOB/OGなど異文化経験を持つ教員による座談会の開催

海外経験を教育活動に反映している事例紹介・海外活動と国内教育活動をつなぐ具体的提案

## 成果物

### 1 教室活動事例集

(冊子、CD、動画DVD)

### 2 調査等報告書 (冊子)

- 市町教育委員会・学校長への聞き取り調査
- ブラジル現地調査
- 座談会
- 課題と提案



現在、日本、ブラジル両国間の移動をくりかえす子どもたちが増加し、彼らに対する継続的な教育支援が求められています。本活動は国際協力の立場から日系社会の子どもたちを支援します。